

福 中 南

岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

紅葉の閑谷学校で絆を深めました！

好天に恵まれ11月17日（火）に日帰りでしたが、楷の木が紅葉に染まった閑谷学校で研修をしました。旧閑谷学校は、世界で最も古い公立学校です。当時の生徒が学んだのと同じ講堂で、論語を学びました。講堂の中には、研修でしか入ることができません。床の漆は創立以来塗り替えられずに当時のままだそうです。そのような講堂の中で学び、その後床掃除を丁寧にいたしました。

また、感染症対策として、講堂では間隔を空けて座るようにしたので、半分の生徒は、史跡見学をインストラクターの方にいただきました。

例年なら、5月に実施し、違う小学校から入学してきた生徒たちと行事を通して人間関係をつくったり、中学校の教職員と信頼関係を深めたりしてきた行事です。今年度は、その人間関係づくりが十分できないまま半年が過ぎてしまいました。学校という場を離れて、普段とは異なる活動を行うことで、他の人の普段とは違う面が見えたり、良さに気づいたりします。今年取り組んだ11月の活動では、出発式の時には学年全体で雰囲気をつくることはできませんでしたが、閑谷では早速お互いに声を掛け合って学年の雰囲気をつくることができました。

講堂学習



入口で一礼。心を静めてから、国宝の講堂へ入室しました。江戸時代に行われていたように、丁寧なあいさつから論語の学習を始めました。終わったら感謝の気持ちを込めて床を丁寧に拭きました。人として大切なことを、特別な場所で学びました。



史跡見学



入口の門で一礼して、講堂がある敷地へ。史跡見学では、江戸時代に生徒が通っていた校門（鶴鳴門）の説明を聞いたたり、なめらかに築かれている石塀の説明を受けたり、池田光政侯の髪などが納められている榑山の見学をしたり、孔子像がまつられている聖廟を見学したりしました。

スコアオリエンテーリング

講堂学習と史跡見学後は、班に分かれてのスコアオリエンテーリングに取り組みました。お弁当は、早く出発する班は、行程の途中で食べやすい場所で班でそろって食べ、遅く出発する班は、待っている間に班でそろって食べました。班ごとに時間も場所もバラバラで食べる事ができるのかなと一抹の不安はありましたが、どの班もばらばらになることなく食べる事ができました。

スコアオリエンテーリングでは、山道を奥の方までポイントを探しに行き、たくさんポイントをゲットして帰ってくる班が多くありました。時間の制約がある中で、ほとんどの班が目標時間を目指して帰ってくる事ができました。足のけがをした人もいましたが、班の人が近くの先生に連絡を取ってくれて、無事下山する事ができました。このスコアオリエンテーリングでは、普段なかなか築けない周りの人との絆をしっかりと深める事ができたと思えました。

入所式での校長先生のあいさつ～抜粋

閑谷学校は、藩主の池田光政侯が庶民も学ぶことができる場としてつくらせた世界最古の公立学校です。池田侯は、生徒は真ん中の校門から入らせていましたが、池田侯は西にある少し小さな公門から出入りするくらい生徒を育てることをとても大切にしていました。そのような場で、学ぶことができることを、今後に生かしてほしいと思っています。

さて、私は講堂の屋根が大好きです。なぜかという、普通の家は同じ色の瓦で屋根ができていますが、閑谷学校の屋根はすべて備前焼でできており、いろいろな色合いの瓦が響き合って美しい模様になっています。一つ一つの瓦は色合いは違っているのですが、皆同じ方向を向いて、しっかり屋根の土台に固定され長い年月の間、講堂を風雨から守ってきました。皆さんも一人一人は、個性があって違うけれど、講堂の屋根瓦と同じように色合いは違っても、同じ方向を向いて、みんなで力を合わせれば大きな力を発揮できると信じています。今日の研修で学年のみんなの絆が深まり、これからの一年生の大きな力になることを期待しています。



コロナ対応のため、初めて秋に閑谷学校へ行きました。紅葉と青空と備前焼の瓦がとてもきれいでした。



よく観察しました

これらの白いポストがポイントで、ポイントについているホッチキスのようなもので、カードにチェックをします。ポイントごとに得点が異なります。